

2010年9月28日

報道関係者各位

ショートショート フィルムフェスティバル

**米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭  
ショートショート フィルムフェスティバル  
マレーシア政府機関 (FINAS) と連携を図り、マレーシア初開催！  
日本の若き才能を、アジアのイスラム圏に向け積極的に発信**

「ショートショート フィルムフェスティバル (SSFF)」(企画運営:株式会社パシフィックボイス)は、日本の映像コンテンツをアジア諸国に向け発信し、映像文化事業、教育事業、コンテンツライセンス事業の3つの事業を、アジア圏中心に拡大するため、今後様々な取り組みを行ってまいります。

過去には、SSFFの海外開催として、シンガポール、ミャンマー開催を実施。アジア圏での映画祭認知向上の足がかりとなりました。こうした基盤を活かし、今後は、教育面、文化事業面、コンテンツビジネス面、全内容でアジア展開を拡大してまいります。その第一弾として、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010」のマレーシア開催を行い、マレーシア国内で SSFF ブランドを認知させるほか、日本、マレーシア両国の映像交流をスタートさせ、アジア次世代の若手映像作家の応援と発掘、そしてコンテンツ開発に携わってまいります。また、マレーシアは、マレー系(約65%)、華人系(約25%)、インド系(印僑)(約7%)の国民構成のため、アジアの中でも仏教とイスラムが混在する国として、今後、SSFFとイスラム圏との文化交流の礎を築いてまいります。

■「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010 in マレーシア」

日時: 2010年10月1日(金)~3日(日)

会場: クアラルンプール市内、Sound Stage Studio/Pawagam Min iP. Ramlee Studio

主催: FINAS(マレーシア国立映画振興社) (<http://www.finas.gov.my/index.php>)

後援: 在クアラルンプール日本大使館、国際交流基金

趣旨: マレーシアの首都、クアラルンプールにある FINAS 関連会場で、3日間にわたり SSFF & ASIA 2010 からの作品をセレクト上映。映画祭と縁のある新鋭アジア人監督、ロイストン・タン(\*2) (「881 踊れ! パパイヤ」)、アルフォンソ・トーレ (「Bonsai」アジア インターナショナル部門優秀賞) をゲストに迎え、シンガポールの若手監督を交えて、「ショートフィルムの意味とは?」「インターナショナルな映画とは?」というテーマの下シンポジウムを開催。また、本開催のモデレーターでもある田中靖彦氏(\*3)による脚本セミナー「ハリウッド・ストーリーテリング」(\*4)も現地の映像教育の一環として実施します。

■ご参考: FINAS(マレーシア国立映画振興社) (<http://www.finas.gov.my/>)

FINAS(マレーシア国立映画振興社)は、映像文化の推進、保護、マレーシアの映画産業の発展を促進するために1981年2月に設立されました。グローバルに展開する映画産業振興を目指し、国内の映画製作に施設提供、資金援助、コンサルティングを含め効率的にサポート。また、年間を通じてワークショップを主催するなど、創造的な知識と熟練された映画製作者の育成、環境づくりを構築しています。

更に、FINASPOSTというスタジオを所有し、テレシネ、編集、音響システム、グラフィック制作などができるポストプロダクション設備が用意されているほか、レンタル施設としても機能しています。マレーシア映画業界の統括として、年間の国内映画産業の状況、興行成績、制作本数などを統計、また、過去作品をアーカイブとして、ウェブサイトを中心に情報提供も行っているほか、国内の映画振興サポートを中心に、パキスタンの映画製作、開発など、イスラム圏のサポートも行っています。

## ■ご参考:過去の実績



韓国の人気俳優 ユ・ジテさんをお迎えしての「フォーカス・オン・アジア」(2009年)



アジアナ国際短編映画祭に、SSFF創設者 高橋敬子が審査員として参加(2007年)



映画祭史上初のアジア圏でのツアー シンガポール開催(2001年)

## ■ご参考:ショートショート フィルムフェスティバル(www.shortshorts.org)



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、村上龍、竹中直人、野口健、武田双雲、寺島しのぶ、大沢たかお、押井守、堀北真希、土屋アンナ、山田優、デーブ・スペクター、崔洋一、奥田瑛二、桃井かおり、など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。更に同年、日本を含むアジア諸国の作品を紹介する映画祭として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を設立。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞受賞監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などPixarで活躍するマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え! パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

# PRESS RELEASE

■ご参考:株式会社パシフィックボイス(<http://www.pacvoice.com/>)

代表者 : 代表取締役 別所哲也

所在地 : 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル 4 階

設立 : 1994 年 8 月 11 日

資本金 : 1,000 万円

事業内容: ・アーティストのマネージメント、プロダクション運営

- ・映画祭の企画・運営
- ・映像コンテンツの企画制作・販売
- ・映像および音響の記録媒体の製作・販売
- ・映像、映画上映の企画・運営
- ・教育育成事業の企画・運営 など

\*1 ロイストン・タン・・・シンガポールで最も注目される若手監督、シンガポールのカルトアイコン。世界中で獲得した賞の数は41を超える。タイムマガジン『アジアのヒーロートップ 20』(’04)に選ばれる。『811 歌え! パパイヤ』は日本でも公開されるなど、世界各国で賞賛を浴びる。

\*2 田中靖彦・・・東京都出身。米国カリフォルニア州立大学ノースリッジ校テレビ・フィルム学科卒業。更にコロンビア大学にて映画プロダクションを学ぶ。ハリウッドの制作会社「Sheen Production」「Shower Productions」で、インハウス・ライターとして活躍。また、TV 制作会社「Cosmo Space of America」ではプロダクションコーディネイトをはじめ監督・カメラ・編集などを手がけ様々な作品を仕上げる。フィギュア・スケートの元オリンピック強化選手で、04年～05年には、ディズニーのアイスショウ「美女と野獣」の出演者として世界14ヶ国を回る。著書に「ハリウッド・ストーリーテリング」(愛育社)。

\*3 ハリウッド・ストーリーテリング・・・ロサンゼルス在住20年、ハリウッド現役の脚本家で現在、「ワーナーブラザーズ映画ローカルプロダクション」等、邦画作品の分析や日米とアジア諸国で脚本技術の講習を実地し、マレーシア政府機関 FINAS のもとでグローバル市場をターゲットとした脚本の開発にも携わる田中靖彦氏が、ハリウッド脚本の仕組みを多角的に「分析」「説明」する集中講座。「旅の地図」というユニークな概念に基づき、あなたの“ストーリーテリング術”を上達させるテクニックを伝授します。

【報道関係者の方々からのお問い合わせ】

広報担当: 菊地・高橋

電話 (03)5474-8844 FAX (03)5474-8202

メール [press@shortshorts.org](mailto:press@shortshorts.org)